

## 対象地

大津町市街地および下町地区

所在地 : 熊本県下益城郡大津町



## 概要

大津町は、自然や歴史をはじめとした多くの魅力を有しています。しかし、残念ながらそれらが活かされていないのが実情でした。2005年春の大津町、これらの魅力を何とかしたい、大津をよりよいまちにしたいと願う人々の意識が高まりつつある時期でした。「町内外で大津ファンを増やそう!!」そのような動きの起爆剤的な「大津まちづくり計画」の提案が、当年度の取り組みとなりました。

大津には、かつて宿場町として栄えた歴史的魅力があります。また、阿蘇の外輪山を望む良好な景観環境や、熊本空港が近くにあるという立地環境を有しています。またそのような熊本の要所に接続する主要道が町内を通過していることも、大津の特徴といえます。そこで、①大津中心市街地、②下町地区白川河川敷を対象に、大津まちづくり計画を提案することとなりました。まずは、大津について歴史的・地理的な視点で調査を行いました。これにより、多くの魅力を発見すると同時に、それらの魅力は気付かれず「素通り」されている現状も浮き彫りになりました。では、このような問題の分析をふまえ、大津が有する多くの魅力を活かすにはどうしたらよいか……。住民のみなさんとワークショップで対話することにより、まちづくり案を模索していきました。魅力と問題を地元住民に伝える第1回、対象地模型を前にしてブレインストーミングを行う第2回、とワークショップを行い、住民のまちづくり意識の高めることに努めました。ワークショップでの議論をもとに最終的に、①中心市街地周辺に点在する魅力的な場所をつないだサイン計画と、それを巡る「こでかけ」と、基点となるポケットパークの提案、②水辺と阿蘇の外輪山などの自然と、空港や阿蘇と熊本市をつなぐ交通の利点を活かした白川河川敷の整備計画案、を再度ワークショップを開催して提示しました。



演習は第3回のワークショップをもって終わりました。最終提案を伝える模型やパネル、サイン計画マップなどの成果品と共に、これまで行ってきた大津まちづくり計画は地元住民に引き渡されました。これらの成果品は大津町役場や祭り会場に展示され、まちづくりのきっかけとして、大津の人々に提示し続けています。



▶ 第1回ワークショップ



▶ 第2回ワークショップ



▶ まちづくり計画検討



▶ 第3回ワークショップ

## 備考

参加者 : 男6名・女2名 計8名

URL : <http://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/wildcat/2005/current/civil/civil002/>